



平成 22 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 三井松島産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 串間 新一郎
(コード番号 1518 東証 福証)
問合せ先 執行役員経理部長 高田 義雄
(TEL. 092-771-2171)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 2 月 12 日に公表しました平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の通期業績予想の修正および特別損失の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 2 月 12 日)	百万円 53,000	百万円 4,000	百万円 4,200	百万円 3,000	円 銭 25.98
今回修正予想(B)	61,000	4,800	5,200	3,400	29.45
増 減 額(B-A)	8,000	800	1,000	400	
増 減 率(%)	15.1	20.0	23.8	13.3	
(ご参考) 前期実績(平成 21 年 3 月期)	107,691	6,441	4,251	△1,251	△11.90

2. 修正の理由

売上高は、当第4四半期において、中国をはじめとするアジア諸国に対する産業用、建設用鋼材の輸出の増大に伴う国内鉄鋼メーカーの旺盛な原料炭需要などにより、国内における石炭販売が増加し、予想を上回る見込みとなりました。

営業利益は、上記に加え豪州海外子会社の業績が堅調に推移したことなどから、予想を上回る見込みとなりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、前回発表予想時に比べ、為替レート(円/豪ドル)が円安で推移したことによる為替差益の計上などにより、同予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益は、下記のとおり減損損失の特別損失計上がありました。経常利益の確保により、予想数値を上回る見込みとなりました。

3. 特別損失の計上及びその内容

(1) 固定資産の減損損失の計上について(連結・個別)

当社並びに連結子会社が保有する固定資産のうち稼働率の低い土地や収益性の悪化が見られるものについて回収可能性を検討した結果、平成 22 年3月期第4四半期において、減損損失として連結で 386 百万円、個別で 279 百万円をそれぞれ特別損失に計上する見込みとなりました。

(2) 事業整理損失引当金繰入額の計上について(個別)

当社は、連結子会社である松島炭鉱株式会社が経営していた池島炭鉱の閉山(平成 13 年 11 月 29 日)による国内炭事業撤退に伴い発生する損失に備えるため、当該事業の整理にかかる損失見込額を事業整理損失引当金に計上しております。

平成 22 年3月期第4四半期において、当該引当金を見直した結果、190 百万円の事業整理損失引当金繰入額を特別損失に計上する見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

以 上